



全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

4月に6年生が実施した全国学力・学習状況調査(国語・算数・質問紙)の結果が、文部科学省から届きました。本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面です。本校では、1年生から今までの学びの様子が表れている一つの資料として、その結果をもとに、子どもたちに身に付いていることや課題等を分析し、今後、力を入れて指導すること等を全職員で話し合い、以下の対策を考えました。また、国語と算数で共通して言えることは、問題文が長いということです。そのため、「日頃から読書の機会を増やすなどして長い文章に慣れる」「大事なことを落とさずに問題文をじっくり読んで、答える」ことが大切であることを再認識しました。話し合ったことを、全学年で今後の指導につなげていきます。

保護者の皆様、以下にお知らせしました、結果や今後の対策等をお読みになり、ご家庭でも機会をとらえて、対策をもとにお子様に助言や励ましをしていただけると、大変ありがたいです。まずは、お子様が冬休みの課題に取り組んでいるときに、励ましの「絶好のチャンス」です。冬休み中、ときおり、お子様の頑張っている様子をご覧になり、「文の中で習った漢字を使っているね」「計算が速くなったね」など励ましていただくと、お子様の学ぶ意欲が向上すると思います。よろしくお願いたします。

国 語

- 本校の結果は、県や全国の平均正答率と比べると、下回りました。
- 領域別に見ると、「読むこと」では、県や全国の平均正答率と同程度でした。物語文において、「人物像を具体的に想像することができるか問う問題」では、県や全国平均正答率を上回っていました。
- 既習の漢字「競技」「投げる」を文の中で使えるかをみる問題では、日頃の学習の成果が表れ、県や全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- 一方、「話すこと・聞くこと」の領域では、課題がみられました。

	課題がみられた問題	対策
ア	オンラインで交流する場面において、相手に自分の考え方が伝わるように話すための工夫を正しく答える問題。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に自分の考えが伝わるようにするためには、資料を活用するなど、表現を工夫することが大切であることを指導します。 ・資料を活用するよさは、説明を補助したり、伝えたいことを強調したりできることを実感させていきます。
イ	「学校のよさ」を伝える文章を書くための構想メモについて、そのメモの書き表し方を説明したものを適切に選ぶ問題。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな構想メモの取り方を指導していきます。 ・語句と語句をつないで図に表すことで自分の考えを整理したり、考えをまとめたりできることを実感させていきます。
ウ	【原さんの4月の読書記録】を読んで、「4月の振り返り」の欄に、原さんが気づいたことを記述したものを選ぶ問題。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間など本に触れる機会を大切にします。 ・原さんのように、読書をした後、感想等を記述する活動を取り入れることで、読書は自分の考えを広げることができることを実感させます。

算 数

- 本校の結果は、県や全国の平均正答率と比べると、下回りました。
- 「はじめに持っていた折り紙を□枚、38枚もらって全部で62枚」の関係について、「 $\square + 38 = 62$ 」と、多くの児童が正しい式を選ぶことができ、県や全国の平均正答率を上回っていました。日頃の繰り返しの学習の成果が表れていました。
- 課題がみられたのは、領域別では「図形」、問題の形式では「考え方を記述する問題」でした。

	課題がみられた問題	対策
ア	「家から郵便ポストまで 600m、自転車で 3 分かかり分速 200m」「郵便ポストから図書館までは 400m、自転車で 2 分かかり分速 200m」。「家から図書館までの自転車の分速は？」の問題。	<ul style="list-style-type: none"> ・分速 400m と答えた児童が多くいたことから、速さの意味をしっかりと理解できていない児童が多いことが分かりました。 ・日常生活の場面に置き換えて考える活動を多く取り入れることで、算数的感覚を育てていきます。
イ	五角柱の面の数を、「底面」「側面」の 2 つの言葉を使って説明する問題。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃見慣れている、底面が上下にある「立っている五角柱」ではなく、底面が左右にある「横になっている五角柱」が問題に示されていました。そのため、底面と側面を区別できない児童が多くいたようでした。 ・授業の中でいろいろな向きに置かれている図形や立体を扱い、頂点、辺、面を指や手の平で示すなど、実感を伴った学習を多く行い、理解を定着させます。 ・算数の用語(キーワード)を使って説明する活動を多く取り入れていきます。
ウ	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しく描けているものを選ぶ問題。	<ul style="list-style-type: none"> ・直方体の面と面、辺と辺との関係を理解させます。 ・授業の中で、直方体や立方体の特徴に着目させて、見取図に描く活動を繰り返し行い、慣れさせます。

児童質問紙

県や全国と比べて、本校のよかった点

本校の子どもたちのよかった点がたくさんありました。よいところは、さらに伸ばせるように指導していきます。

それでは、よかったものの中から、特に顕著なものを挙げさせていただきます。



- 「朝食を毎日食べている」と、全員の児童が答えていました。
 - 基本的な生活習慣がしっかりしていることがうかがえました。保護者の皆様のおかげです。ありがとうございます。引き続き、「早寝・早起き・朝ご飯」を合言葉に、規則正しい生活を送れるように、子どもたちへのご指導をよろしくお願いいたします。
- 「将来の夢や目標をもっている」と、多くの児童が答えていました。
 - 子どもたちの前向きさや自己肯定感の高さがうかがわれました。子どもたちが希望を抱きながら過ごしているのは、保護者の皆様がお子様へ愛情を注ぎながら、はつらつと過ごしていられるからだと思えます。ありがとうございます。
- 「国語と理科において、授業がよく分かる」と、多くの児童が答えていました。
 - 全国学力・学習状況調査の結果をみると、算数と国語を比べると、国語の方がよい結果でした。子どもたちの自信を大事にしながら、「すべての教科が好きで、授業がよく分かる」という子どもたちを目指していきます。

	課題	対策
ア	スマートフォン等でゲームや動画視聴等に多くの時間を費やしている児童が数名。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も家庭と連携して、情報モラル教育を行っていきます。 ・スマートフォン等の利用について、家庭において、お子様と約束を決めていただきますようお願いいたします。
イ	困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談していくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもたちに寄り添った授業を行い、子どもたちが発言する機会や安心して相談できる環境をつくります。 ・全職員で子どもたちを見守り、休み時間など、職員から子どもたちへ声をかけるようにしていきます。 ・今年度も 3 学期に、スクールカウンセラーが講師になり、「SOS の出し方教育」を 5 年生対象に実施します。
ウ	「算数の勉強が好き」と答える児童が少数であること。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくて、分かりやすい授業を行い、算数が好きな児童を増やしていきながら努めていきます。 ・算数において、テスト直しをていねいに行ったり、復習を繰り返し行ったりして既習事項の定着を図り、自信をもたせます。 ・日常生活の場面と結びつけて、算数が使われる場面や算数の便利さに気づいていけるように、授業を工夫していきます。

目指す学校像
児童・職員・保護者・地域
みんなの笑顔がいっぱい 梅南小！

梅南小のホームページには、子どもたちの様子が紹介されています。「桐生市立梅田南小学校ホームページ」を検索、または、右の二次元バーコードから開いて、是非子どもたちの様子をご覧ください。

